

広報

# 福祉ふくた

第24号

発行者：富来田地区社会福祉協議会

発行日：2023年1月



## 年頭のご挨拶

会長 鈴木 博雄



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに、よい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

富来田地区社会福祉協議会の運営につきましては、平素よりご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和元年9月8日の台風15号の被害や令和2年からのコロナ禍により、ここ数年は当協議会の目指す「明るい福祉のまちづくり」の主要事業である敬老のつどい、生き生きクッキング、小学生の福祉体験等を残念ながら実施することができませんでしたが、地区内

に、5月に子ども食堂「馬来田ぷらす」、子どものための学習支援教室「富来田教室」、7月には「とみおかにこにこカフェ」の活動を各団体が始めましたので紹介いたします。ご利用ください。

今年こそ、住民の皆様、まちづくり協議会、富来田地域包括支援センター、民生児童委員、公民館、関係諸団体の協力を得て「オール富来田」により実施したいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

寒さが一段と厳しくなって参りますが、皆様のご健康と今年一年が穏やかなよい年となることを心からお祈り申し上げます。



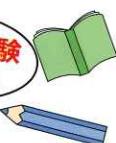
子どものための

## 学習支援教室

富来田教室

ボランティアと一緒に勉強しませんか

見学・体験  
OK!



木更津市社会福祉協議会では、学習習慣や生活習慣作り、学校以外の子ども達の居場所作りを目的に、小学生・中学生を対象とした「子どものための学習支援教室」を、毎週金曜日・17:30~19:30富来田公民館の研修室をお借りして開催しております。

今年度、富来田地区教室を開催するにあたり、富来田小学校・中学校の先生方、富来田地区社会福祉協議会の方々のご協力に感謝申し上げます。

単に子どもに勉強を教えるだけであれば、学習塾という選択もある事でしょう。しかし、学習支援教室では、例えば学校の授業についていけず、学習に対する意欲が低下した子ど

もの学び直しに寄り添う事や、生活上の課題を抱えている子どもの居場所をつくる事など、子ども達が何でも話せる地域の居場所を目指し、活動しております。

子どもの人数が全国的に減少傾向にあるなかで、未来を担っていく子どもたちが地域の中で健やかに育っていくことを願いながら、今後とも活動を続けてまいります。

なお、学習支援教室に参加してくれる子ども達、ボランティアは通年募集しております。

### 【問合わせ先】

社会福祉法人 木更津市社会福祉協議会

TEL 0438-25-2089



## みんなで食べるとおいしいね

—馬来田で子ども食堂「馬来田ぶらす」が始まりました—



昨年5月に馬来田地区で新たに子ども食堂「馬来田ぶらす」が発足しました。既に木更津市内では、2017年に木更津波岡こども食堂など3ヶ所が発足し、その後市内各地域に広がり、学習支援を伴う形や予約制、年配の方や子どもが一緒に食事をする形など、様々なコンセプトに基づいて実施されています。

馬来田ぶらすは、「あたたかいつながりが実感できる社会が続いて、やさしい社会になるように」との考えで始まりました。

最初は、喫茶店のオープンテラスを利用し、感染症対策をして実施しました。メニューのカレーライス、サラダなどは、地域の農家や篤志家によるお米や野菜、果物などの寄贈によるもので、お代わりをする子どももいて、盛況のうちに終えることができました。スタッフも慣れないことに戸惑いながらも、参加者の笑顔を見て安心されたようです。



現在は、参加者の増加（約50人）や気候にも対応し、富来田公民館に場所を移し同様に開催されています。

代表は、「子ども食堂という名前にとらわれず、地域の幅広い年代の交流の場にしていきたい」と話しています。

子ども食堂「馬来田ぶらす」は、富来田公民館（木更津市真里谷110）で毎月最終火曜日（変更の場合もあり）17時30分から19時。40食限定。参加費大人300円、子ども100円で開催しています。

詳細はFacebookで確認をお願いします。

### 【問合わせ先】

代表 金井珠美 TEL 080-9394-8739



子ども食堂  
馬来田ぶらす  
QRコード



## 民生委員・児童委員及び主任児童委員が改選

(任期：令和4年12月1日から3年間)

民生委員・児童委員、主任児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、富来田地区では下記の14名です。

地域の皆さんの身近な相談相手となり、福祉の支援を必要とする方を行政や専門機関へつなぐパイプ役などを務めます。生活上の不安や悩みなどを抱えている方は地区を担当している委員にお気軽にご相談ください。委員には守秘義務があり、相談の秘密は守られます。

### 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員

氏名	電話	担当区域	氏名	電話	担当区域
鈴鹿のぶ子	53-2217	3区・11区	渡辺幸雄	090-2434-1672	田川区・佐野区・八万台区
中村好子	53-6118	1区・2区・真里西区	林正巳	53-3273	土器崎区・辻区・市川区・木の根沢区
工藤信子	080-1330-3453	永井区・矢崎区・孫の台区	鈴木博雄	53-2003	石沢区・原林区・鳥山区・大鐘区・湯名区
花崎功	53-5990	8区	鶴田きよ子	53-3064	根岸区・上根岸区・今間区
鶴岡静治	53-4032	宿区・五郷区	近藤照男	53-5373	茅野区
鶴岡日出夫	53-3183	市野々区・丹原区・地蔵堂区	石井晴雄	53-5384	茅野七曲区・山本七曲区

(富来田地区民生委員・児童委員協議会会长：鶴岡静治 同副会長：鈴木博雄)

### 主 任 児 童 委 員

氏名	電話	担当区域	氏名	電話	担当区域
東智子	55-1331	富来田地区全域	佐久間裕子	53-6254	富来田地区全域

※主任児童委員：子どもや子育ての相談を専門に担当する委員



-誰もがホッとできる地域の憩いの場-

## とみおかにこにこカフェ



富岡にお住いの方なら誰でも参加することができます、お互いにコミュニケーションをはかりながら、ゆったりとしたひとときを過ごしていただく地域の憩いの場、「とみおかにこにこカフェ」（以下、「にこにこカフェ」）が、令和4年7月20日に富岡公民館でオープンしました。

現在、月1回、第3水曜日の午前中に開催しており、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、当日は、富来田地域包括支援センターによる体操やゲームで緊張をほぐした後、お茶を飲みながら、スタッフも一緒に自由におしゃべりをしたり、皆で歌を歌ったりして楽しい時間を共有しています。また、見守りキーホルダーの登録など福祉に関するサービスや日常生活での不安や悩み事に対する相談、地域の情報提供なども隨時行っ



ています。

一方で、足の不自由な方などハンディキャップのある方や、より若い世代の

方に参加してもらうにはどうしたらよいのかといった課題もあり、今後、検討していく必要があります。

まだまだ手探りではありますが、一人でも多くの方に足を運んでもらえるよう、そして、「にこにこカフェ」を契機につながりの輪がいっそう広がっていくことを願って、引きつづき、スタッフ一同“笑顔で楽しく”をモットーに、“継続は力なり”的精神で一步ずつ前に進んでいきたいと考えております。



### 「とみおかにこにこカフェ」の日程 (原則、第3水曜日)

時間：午前9時30分から11時30分

場所：富岡公民館集会室

※お気軽にお越しください！

### 【問合わせ・連絡先】

富岡公民館 TEL 0438-53-5952

## 活き生き クッキング

### 料理教室受講者募集

近年、男性の一人暮らしが多くなり自分で料理を作る人が増えていることから富来田地区社会福祉協議会は、富来田公民館との共催で男の料理教室「活き生きクッキング」を行っています。

4年度はコロナ禍のため中止していましたが5年度は実施する予定です。実習は、公民館の調理実習室で講師の指導の下、グループごとに食材を調理、配盆して試食します。

例年、開講は6月で、第5回は移動教室として関東地域の工場見学等を行います。

今年は自分で料理を作ってみたいと思っている男性、「活き生きクッキング」の申込は早めに行ってください。内容はつぎの通りです。

定 員：約20名（60歳以上）

参加費：3,000円（食材費）

場 所：富来田公民館

申込先：富来田公民館 木更津市真里谷110 TEL 0438-53-2027

回 数：5回（うち1回は移動教室）

持ち物：エプロン、三角巾

高齢者  
訪問

星野きよさんを訪ねて



長雨あがりのとても  
気持ちの良い日、10  
月8日の午後、真里の  
星野きよさん宅訪問。

元気の良い笑顔の星  
野さんに迎えられお話  
を伺いました。星野さんは、大正14年生まれの97歳、とてもお元気で雨が降っていなければ畠にクワを持って野菜作りをするのを  
楽しみにする毎日で、今朝も畠に行ってきた  
とのことでした。きよさんは、地元に生まれ  
23歳の4月に、星野享永先生と結婚されました。昭和52年にブラジル・サンパウロの  
日本人学校の校長先生として赴任するご主人  
と共に、ブラジルに向かい、そんなに開けて  
いるとは考えていなかったサンパウロの町に  
足を踏み入れたら、バスは2階建で夜も走っ  
ている。街並みも建物も立派で、ずっと馬来  
田に暮らしていたのでとてもビックリ、これ  
は日本よりも、ずっと開けていると思ったそ  
うです。当時日本では、出かける時は夫婦揃  
ってでなく、1人の時代でしたが、何事も同  
伴でお出かけする習慣で、日本企業も沢山進  
出していて、生徒も800人、子ども達はス  
クールバスで（40分）バス通学していました。

日本からの派遣教員の方々は皆サンパウロ  
に住み、バスで出勤。ブラジルはサッカーが  
盛んで、試合で勝った時は町中で大騒ぎ、田  
舎に住んでいた私はもう驚く事ばかり、でも  
貧富の差が大きくあり、日本人が装飾品を付  
けて歩いていると、後をつけて来てひったく  
りに合う事が度々ありました。しかしこの国  
の人達は、恵の精神が盛んで、貧しい人達に  
援助してくれる気持ちの良い国。日本人には  
住みやすい所でした。言葉はポルトガル語で  
したが、日本語が日常はよく通じるので不便  
はありませんでした。

当時、小櫃の学校がサンパウロと姉妹校に

なっており、交流は盛んでした。小櫃、久留  
里の方々がサンパウロに住んでおられ、偶然  
にもPTA会長が久留里の出身者でした。日本語学校がたくさんあり、校長先生が友好関  
係を結んで、交流は盛んでした。パーティー  
が多くて3年間で60回位お呼ばれしました。  
料理は、肉が主体で、魚、果物も沢山ありお  
かげでお肉が大好きになりました。

移民70周年記念で、現在の上皇ご夫妻が  
皇太子殿下のころ、お出で頂いたときは、そ  
れはそれは大変な歓迎をうけました。三木首  
相もおいでになり握手しました。各地にある  
日本語学校と友好し、それぞれの学校と行き  
来し、夫妻で出掛け、そのたびバーベキュー  
パーティーでお肉を沢山頂きました。日本に  
いたら経験出来ない事を沢山経験致しました。

そのおかげで、今もこんなに元気で暮らして  
いられるのかもしれませんね。45年前の出来事  
を昨日の事のようにお話になる様子は、  
とても97歳になるとは思えませんで、お話を  
伺っている私たちも、とても楽しい時間を  
過ごさせて頂きました。日本に帰られてからも、  
その当時の方々と交流を持たれていたそ  
うです。

現在は、耳も目も不自由なく、毎日、畠の  
野菜作り、庭の雑草取りを楽しんでおられてい  
ることで、畠仕事をしていると、近所のお友達と話が弾み、時々お食事会を楽しんだり、  
とてもお元気で、楽しそうな毎日を過ごしていらっしゃる人生を送られていることが  
感じられ、うらやましい1日でした。

最後にお元気の源をお聞きすると、クワを  
持って毎日畠に行く事、楽しくお友達とお食  
事をする事。お肉が好きな事等お話になり、  
さらにコミュニケーションが大事とおっしゃ  
いました。帰りに、屋敷内のご長男さんのイ  
ギリス風のバラの庭園を案内して頂き、星野  
さん宅を後にしました。